

## 園芸グローバル産地育成強化事業（新規）

### 1 趣 旨

本県農産物の輸出再開と輸出量回復・拡大を図るため、国際化に対応できる長期出荷や魅力ある果樹、花き等の園芸品目の安定供給体制を整備することで、世界にふくしまブランドを積極的に発信し、風評払拭と産地再生を加速させる。

### 2 事業内容

#### (1) グローバル化実践支援事業

本県を代表し、高い評価を受け、輸出量も回復しつつある本県果樹ブランドの「もも」や「なし」の新たな防除技術実証を支援する。また、果樹、花き等の輸出に必要な収穫時期、輸送方法や鮮度保持技術の検証を支援する。

#### (2) ふくしまブランド産地整備事業

輸出相手国の残留農薬基準や植物検疫の条件、品質等のニーズに対応した生産体制整備を支援し、新たな防除体系やスマート農業及び環境制御等の先端技術の導入により輸出条件に適合した産地形成を加速化する。

3 事業実施主体 2の(1) 県、農業協同組合、農業者が組織する団体等  
2の(2) 農業協同組合、農業者が組織する団体等

4 予算額 44,003千円

5 補助率 2の(1) 定額  
2の(2) 2/3以内

6 事業実施期間 令和3年度～令和5年度

【担当課：生産流通総室園芸課 024-521-7357】

127

## 園芸グローバル産地育成強化事業

令和3年度事業費  
44百万円

本県産農産物の輸出量回復・拡大と輸出再開を図るため、国際化に対応できる長期出荷や魅力ある果樹、花き等の園芸品目の安定供給体制を整備することで、世界にふくしまブランドを積極的に発信し、風評払拭と産地再生を加速させる。(～R5)

#### 課題と対策

- ・根強く残る風評 → 輸出の拡大による知名度向上が大切<評価向上>
- ・輸出先では使用農薬を制限 → 施設化による輸出用ほ場の設置<検疫対策>
- ・必要な輸出農産物の確保 → 品種分散と施設化、保存技術で相手国需要に対応<長期出荷、品質確保>
- ・輸出にかかる費用負担大 → 輸出相手国、品目ごとの保鮮・輸送技術を構築<評価向上>
- ・新型コロナウイルスによる輸出量落ち込み → 継続的な産地整備<輸出量拡大>
- ・一部の国では輸入規制継続 → ふくしまブランドの継続的な発信が必要<認知度向上、販路拡大>

### グローバル化実践支援事業

14百万円

事業内容：重要病害対策の技術実証。保鮮・輸送技術の開発と実証、全ての食品の輸入を規制している中国へ現在輸出可能な花きを先駆けとして輸出拡大

事業主体：県、農業協同組合、農業者が組織する団体等

補助率：定額

評価向上⇒輸送手段、梱包資材の実証等

検疫対策⇒重要病害の防除の徹底等

認知度向上・販路拡大⇒花材活用提案・求評等

### ふくしまブランド産地整備事業

30百万円

事業内容：輸出対策のために必要な機械・施設等の導入支援

事業主体：農業者が組織する団体（3戸以上）等

補助率：2/3以内

検疫対策⇒雨よけ施設、ドリフト防止防除機等

長期出荷・品質確保⇒ハウス、保冷库、電照資材等

輸出量拡大⇒省力栽培に要する作業台車や棚施設等

採択要件：認証GAP、JAS取得生産者等

輸  
出  
量

H22

R元(現状)

R5(目標)

果樹 14t

131t

150t

花き

55千本

67千本

・新型コロナウイルスによる一時的な輸出量の落ち込み(R2)  
・令和5年までに新型コロナウイルス流行前の水準に回復させる

もも、なし、かき、切り花を中心に輸出拡大

主な輸出先  
タイ  
マレーシア  
ベトナム  
中国  
など

128